

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	放課後等こどもデイサービス　こころん			
○保護者評価実施期間	令和　7年　12月　1日		～	令和　7年　12月　28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和　7年　12月　15日		～	令和　8年　1月　10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和　8年　1月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有、話し合いの機会は多いと思う。 それによって、共通認識を持って児童に対応しているところ。	職員が話し易いような雰囲気を作る。 支援前、支援後に話が出来る時間を短時間でも設けるようにしている。 保護者からの要望や意見などは、すぐに報告している。	皆、時間を作って会話している。　後は、なかなか言い難い事もあると思うので、そういった事も言い合えるような人間関係の構築は必要だと思う。
2	児童一人一人に合わせて対応しているところ。 また、保護者とのやり取り、意思疎通はしっかり出来ていると思う。	LINEや連絡帳、送迎時の報告や相談などをしっかり行うようにしている。 児童に対しても、保護者に対しても、結局は人間関係なので円滑に進むように対応することを心がけている。	今現在、職員は皆しっかりやってくれていると思う。 児童と向き合う時間をいかに確保するかが大切ではないかと感じている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学前に利用していた保育所や幼稚園、学校卒業後の支援サービス事業所に対しての情報共有、支援センターや専門機関との連携が弱いと思う。	日々の対応などに追われ、相談支援事業所からの情報や利用計画に頼っているところ。	保育所や幼稚園、支援サービス事業所などとの関係を作っていく。 今までの支援内容等の情報をまとめる記入用紙を作成すること。
2	保護者との普段の会話は良いが、災害マニュアルや非常事態における連絡方法など、頻度の少ない情報の提供については弱さを感じる。	災害マニュアルや非常時については保護者に伝えているが、その回数、頻度を上げる必要がある。	避難訓練などの回数を増やし、それに合わせて非常事態について保護者に伝えていく必要がある。 また、それと同時に避難経路の確認、非常時の対応についての見直しを行う。
3			